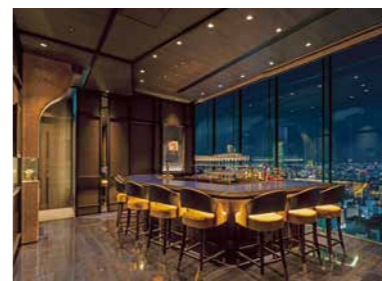




ザ ロイヤルパークホテル アイコニック 名古屋

所在地 愛知県名古屋市中区栄(中日ビル24~32階)
建築主 中部日本ビルディング株式会社
ホテル運営 三菱地所ホテルズ&リゾーツ株式会社
設計・施工 株式会社竹中工務店
照明デザイン 有限会社スタイルマテック
電気工事 ダイダン株式会社
開業 2024年2月



「中国飯店 BAR 蒼」に入ると市内が一望できる



「中国飯店 春秋」の個室「秋菊」



ダウンライトで光だまりが作られたホテルのレセプションルーム



ウォールウォッシュと建築化照明が「中国飯店」からレセプションルームへと誘う



1階エントランスの左官壁を浮き上がらせる建築化照明器具屋外用「グラディ」



ダウンライトが壁面の越前筆箭を照らし出すプレミアムフロアのエレベーターホール



「ドラゴンズルーム」ではエントランスの「スペースプレーヤー」が期待感を高めている



「旅する、チュウブ。」をコンセプトに光と陰影による“おもてなし”を提供
三菱地所ホテルズ&リゾーツ株式会社が展開する「THEシリーズ」のフラッグシップブランド、「アイコニック」。その名を冠した当ホテルは、三菱地所グループが中日グループとタッグを組んでプロデュースしたホテル。中日ビルの7階と24~32階に約250の客室とレストラン、バーやラウンジなどを擁し「旅する、チュウブ。」をコンセプトに日本の“おもてなし”の神髄を表現。館内に一歩足を踏み入れた瞬間からエントランスの左官壁が迎え、客室の茶器に至るまで、一貫した中部体験を提供することでゲストをもてなす。

市内が一望できる最上階32階は全室55m²以上のプレミアムフロアで、窓の外に見える薄暮の移ろいを間接光によって演出。24階の「中国飯店春秋」は、東洋と西洋の過去・現在・未来を融合させた贅沢な空間で、折り上げ天井の建築化照明とテーブルを照射するグレアレスダウンライトが本場上海料理を楽しむ時間を演出している。また、「中国飯店 BAR 蒼」は、その昔、海沿いで栄えた宮宿^{*}をモチーフにデザインされている。さらに、バンテリンドームを望む25階には、中日ドラゴンズファンのための「ドラゴンズルーム」が用意され、本拠地と同じ人工芝が敷かれた部屋にはベンチシートやロッカーなども配置されている。

^{*}宮宿(宮の宿、熱田宿)は、東海道五十三次の41番目の宿場

中日ビル
ザ ロイヤルパークホテル
アイコニック 名古屋

- 主な納入設備
● LEDダウンライト ● LED建築化照明器具 ● LEDスポットライト ● スペースプレーヤー